

令和7年度

中南の

社会教育



祝 文部科学大臣賞決定

令和7年度中南管内から、2つの文部科学大臣表彰が決定しました。「第78回優良公民館」を弘前市立中央公民館が受賞しました。また、令和8年度「子供の読書活動優秀実践図書館・団体（個人）」に対する文部科学大臣表彰に黒石市の「読書クラブ 水よう会」が決定しました。それぞれが評価された特徴ある取組を紹介します。

地域の未来へ！ 弘前市立中央公民館

弘前市立中央公民館は、「地域の未来へ！ 学校＋公民館」をキャッチフレーズに、弘前大学をはじめとする高等教育機関と連携し「中学生×医師交流プログラム」「メディカルスタッフに学ぼう」「来て・見て・学ぼう！ 医療福祉体験」等の中学生のキャリア発達を促進するための事業を展開しています。

また、宇宙や科学への興味・関心を高めるために昭和56年からプラネタリウムを導入し、令和5年度に移動式投影機にリニューアルしたことをきっかけに「小学校にプラネタリウムがやってくる！」を行い、新たな学習機会を提供しています。

さらに、公民館が人づくり・地域づくりの場として、全ての市民が主体的な学びを継続できるよう、各種事業の展開と生涯学習活動の支援に努め、コロナ禍で培ったSNSやオンラインを活用して、新たな利用者を公民館に呼び込んでいることが評価されました。



医師交流プログラム

Index

- ◎祝 文部科学大臣賞受賞
弘前市立中央公民館
- 読書クラブ 水よう会..... 1
- スキルアップ
- ◎社会教育を核とするネットワーク
活用促進事業（西目屋村）..... 2
- ネットワーク＜事業訪問＞
- ◎平川市文化祭記念講演
（平川市）..... 3
- ◎田舎館村埋蔵文化財センター
（田舎館村）..... 3
- ◎黒石市実年式（黒石市）..... 3
- ◎成人大学（大舘町）..... 4
- ◎ふれあいスポーツ教室
（西目屋村）..... 4
- ◎大人のCOFFEE教室
（田舎館村）..... 4

読書クラブ 水よう会

「読書クラブ 水よう会」は黒石市立図書館や黒石ほるぷ子ども館で開催しているおはなし会や学校へ出向いて行う出前おはなし会への協力、公民館や名勝金平成園での一般向けのおはなし会等での読み聞かせを行っています。「子どもたちが様々なおはなしと出会うきっかけづくりをしたい」「読書のすばらしさを多くの人に知ってもらいたい」「ふるさとの話や昔話を多くの人に聞いていただき、後世に残していきたい」という思いで活動を続けています。

本会は設立から40年目となり、平成14年度からおはなし会に読み手として参加を始めてからは今年で24年目となります。黒石市に図書館が建設整備される令和4年よりも前から、おはなし会やブックスタート事業への参加、児童書の選定業務にも携わっており、黒石市の図書館建設を望む機運が強くなった一因として、本会の存在がとても大きく影響していました。

図書館ができた現在も、子どもたちのために精力的に活動を続けており、地域の読書活動推進に大きく貢献しています。



金平成園おはなし会

スキルアップ

村民の健康を目指して！！

社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業

第1回実行委員会

9月4日（木）西目屋村中央公民館にて第1回実行委員会が行われました。案件は会の名称、会則、委員名簿、活動内容についてでした。実行委員の総意により、名称は「村民の健康な未来を考える会」とし、西目屋小学校鳴海昭博校長を会長とする12名で実行委員が組織され、会則も了承されました。活動計画については、事務局を中心に情報共有することで、さらによりよい事業となるよう取り組んでいくことが確認されました。



事業実践「スポーツする子どもの体づくりについて」

12月21日（日）西目屋小学校を会場として「スポーツする子どもの体づくり」をテーマとしたイベントが開催されました。午前は「スポーツする子どもの栄養学」をテーマに、柴田学園大学健康栄養学科助教（ブランドュー弘前FC栄養士）佐藤瑞穂氏が講義を行いました。バランスの良い食事はもとより、どんな食材を食べるべきかを考えさせられる内容でした。引き続き「スポーツする子どもの体づくりについて」をテーマに、弘前記念病院理学療法士（ブランドュー弘前FCトレーナー）佐藤誠剛氏が講義を行いました。けがの対応について、最新の技法が紹介されました。また、実際に体を動かしてみるなど体感的に学ぶことができました。午後からは

ブースでの体験活動を行いました。メニューは弘前記念病院による「体組成測定」「メディカルチェック」、柴田学園大学による「栄養相談」「補食指導、試食」でした。参加者は改めて自分の体を見つめるきっかけとなっていました。また、補食の試食ではその手軽さとおいしさに驚きの声が上がっていました。



フォローアップ研修会

2月26日（木）西目屋村中央公民館中研修室でフォローアップ研修会が行われました。中南地区実行委員会事務局の平田凌氏による実践報告が行われました。スライド資料を活用し、プロジェクトの目的・テーマに始まり、改善点やまとめまで、実践内容を参加者に分かりやすく伝えていました。質疑応答では、本事業を活用した今後の展開、他課との連携の在り方についての質問が寄せられていました。



事業訪問

中南教育事務所では各市町村の事業取材し、情報の共有及びネットワークづくりを支援しています。

ネットワーク

平川市文化祭市制施行20周年記念講演会（平川市） 11月15日



平川市文化祭が11月1日～30日に平川市文化センターを会場に行われました。この日は、開会式、各種表彰の後、市制施行20周年記念講演会が行われました。「郷土とともに生きて～平川市20年、平賀町50年を振り返る」と題して県庁地域生活文化課の中園裕氏による講演が行われました。講演は120枚の貴重な写真を基に行われ、地元の懐かしい写真に参加者は歓声をあげていました。ホール入口近くでは「写真で振り返る平川市展」が行われ、講演会と併せて楽しむ様子が見られました。



公民館では平川市少年少女発明クラブ展示や尾上中学校のねぶた絵展示が会場を華やかにしていました。文化祭期間中、文化ホールでは多様な発表が、公民館では多数の展示が行われており、多数の市民が訪れ楽しんでいました。

ここが魅力

公民館では平川市少年少女発明クラブ展示や尾上中学校のねぶた絵展示が会場を華やかにしていました。文化祭期間中、文化ホールでは多様な発表が、公民館では多数の展示が行われており、多数の市民が訪れ楽しんでいました。

田舎館村埋蔵文化財センター（田舎館村） 12月4日



田舎館村埋蔵文化財センターは東北でも唯一の弥生時代の遺跡です。この遺跡の発掘以前は、東北に弥生時代はなかったと考えられており、その考えを根底からくつがえす発見でした。102号バイパス建設の際に偶然見つかりました。弥生時代の大きな特徴は水稻栽培であり、あぜで小さく区切られた田んぼ跡が多数見られます。また、実際に田んぼ跡を歩くこともできます。



実際に田んぼ跡を歩くこともできます。

ここが魅力

弘前大学のの上条教授の協力の下、令和7年4月から展示方法がリニューアルされました。実際に触れ、持ち上げることができる土器もあります。また、生涯学習課職員が考案したキャラクターである「炭化マイ」を活用した更なるアピールが期待されます。

黒石市実年式（黒石市） 12月7日



黒石市実年式及び実年を祝う会がグリーンパレス松安閣を会場に行われました。実年式を開催しているのは県内では3例、中南地区では黒石市だけです。例年実行委員会を組織して行っています。今年の参加者は70名であり、例年になく大勢が参加しました。プログラムは、記念写真撮影、式典、記念講演、実年を祝う会となっています。式典では、実行委員長である渡邊栄児氏が「私たちは、アナログ世代からデジタル時代へと駆け巡った世代です。この時代で培った力を生かして、まだまだ故郷に恩返ししていく義務を感じています。」と挨拶していました。



この時代で培った力を生かして、まだまだ故郷に恩返ししていく義務を感じています。」と挨拶していました。

ここが魅力

記念講演は青森市出身の三遊亭神楽氏による「生活に笑いを」と題した講演でした。舞台上に高座を設け、軽快な口調で笑いの重要性について小噺をまじえたお話しでした。最後には、津軽弁での落語が披露されました。めったに聞くことのない津軽弁での落語に、会場は大盛り上がりでした。

大鰐町成人大学（大鰐町）12月17日



12月教養講座として「豊かな老後のために知っておきたいお金の話」と題して、NPO 法人青森ファイナンシャル・アカデミー代表理事の菅原伊佐雄氏による講演が大鰐町中央公民館で行われました。

J-FLEC（金融経済教育推進機構）の資料をもとに、今後の幸せを構成する3つの要素「ココロ」「からだ」「お金」についてお話しされました。時折、参加者との掛け合いを取り入れながら終始軽快な語り口でした。資産運用、家計管理に始まり、いつかは直面しなければならない課題である終活、相続へと続く具体的な内容でした。参加者からは「相続について個人的に相談するにはどこがいいのか？」との質問があり、近くの「法テラス」がよいとのことでした。



ここが魅力

菅原伊佐雄氏は金融経済教育推進機構の認定アドバイザーであり、2016年度「金融知識普及功績者」を金融庁から受賞しています。中立な立場からお金に関する教育の他、キャリア教育も得意としていますので、教養講座等に活用してみたいはいかがでしょうか。

冬季ふれあいスポーツ教室【ダンス教室】(西目屋村) 2月18日



「体を動かして、心と体をリフレッシュしよう！」をモットーに、ダンス教室が西目屋小学校を会場に行われ、ライスボールの3名がダンスの講師を務めました。ビデオをプロジェクターで大きく投影し、映像に合わせて、こどもたちは自然にダンスを覚えていました。メインテーマは「青の煌めきダンス」でしたが、その他にもりんご娘、ライスボールの曲に合わせてダンスしました。

休憩中は走り回っていたこどもたちでしたが、曲が流れると、自然と集合ダンスを楽しんでいました。最後は、家族も交えて写真撮影を行い、最高の笑顔がはじけていました。



ここが魅力

メンバーの一人が地元西目屋村出身であるライスボールを講師とし「青の煌めきダンス」を楽しんで踊るといふ、参加したこどもにとって地元を誇りを持ち、地元を愛する心を育む好事例でした。また、参加申込を2次元バーコードからグーグルフォームにアクセスできるようにしたことが参加者の増加につながっていました。

大人のCOFFEE教室(田舎館村) 2月21日



成人教育講座「大人のCOFFEE教室」が田舎館村中央公民館を会場に行われました。会場に入るとウェルカムコーヒーの華やかな香りが出迎えてくれました。講師である成田専蔵氏がコーヒーの歴史、文化、マナーについてお話しされました。元々コーヒーは薬として扱われていたこと、日本の庶民で初めてコーヒーを口にしたのは、北海道宗谷警護に派遣された津軽の藩士だったそうです。

講義の後は、コーヒーの淹れ方を実際に体験し、そのコーヒーを試飲しました。お湯の注ぎ方で泡立ちが違い、さらに味が変わることに会場は驚きに包まれていました。



ここが魅力

講師である成田専蔵氏がユーモアたっぷりに軽快な語り口で参加者とやりとりしながら和やかな雰囲気の中で講義、実習を行いました。また、チラシのデザインが手の込んだものであり参加意欲を向上させていました。